

学童保育（放課後児童クラブ）

- ▶ 学童保育の指導員は、子どもに関する職業で3番目に多い職業人数です
- ▶ 学童保育数、入所児童数が増えているなか、指導員の成り手を求めています

「指導員の日」 ※平日の一例

- 10:00 開所 子どもたちを迎えるための仕事
 子どもの様子の伝え合い
 会議・研修・事務仕事・書類作成・整理
 連絡（学校・行政・地域・保護者など）
 仕事の準備・保育打合せ
 安全点検・環境整備
 おやつ、日用品の買い出し
- 14:00 「おかえり〜」出欠確認
 おやつの準備、宿題見守り
- 16:00 おやつ 片付け補助、自由遊び
 片付け・掃除補助
- 18:30 お迎えに来た保護者へ子どもの様子を伝える
 保育日誌の記入、事務仕事など
- 19:00 閉所



ここが知りたい



それぞれの学童保育で求人条件や雇用条件が異なりますが、大半の学童保育で社会保険の完備や産休・育休制度等が整備されていて、継続的に専門職として働くことができます。



学童保育での実務経験及び保育士・教諭・社会福祉士の資格を活かして放課後児童支援員の認定資格研修を受講することでその資格を得ることができます。資格は、全国の学童保育就職時に活かすことができます。



各種研修会への参加・新人研修・情報交換会（ほいく誌を読む会）など、学ぶため、資格取得のためのサポート体制も整っています。長期的に安心して学童保育に従事することができます。

「子どもたちの生活」 ※各施設で時間など異なります

- 平日
- 14:00 「ただいま」
宿題 自由遊び
- 16:00 おやつ
自由遊び
片付け・掃除
- 18:30 「さようなら」
- 19:00 閉所

- 一日保育（休校日・土曜日・長期休み）
- 8:00 開所 登所「おはようございます」
宿題 自由遊び
- 12:00 お昼ごはん
自由遊び
- 16:00 おやつ
自由遊び
片付け・掃除
- 18:30 「さようなら」
- 19:00 閉所

卒所生の声

どんぐりクラブで過ごした6年間で感じた学童の魅力は、子ども同士はもちろん、指導員とも仲が良く、家族のようだというところです。高校2年生になった今でも変わらず、どんぐりクラブに入所して良かったと感じています。最初は不安だと思いますが、あっという間に充実した日々になるはず。実際に私は1年生の夏ごろの入所でしたが、指導員や上の学年の先輩が色々な遊びや楽しいことを教えてくれ、すぐに友達もできました。外でサッカーやおにごっこ、かくれんぼをしたこと、おやつの順番を決める代表じゃんけんのこと、みんなでおやつを食べたこと、季節の行事でお菓子を作ったことなど、卒業してからも忘れられない思い出ばかりです。中でも特に楽しかった高学年旅行（卒業旅行）は、どんぐりクラブに入ったら是非体験してほしい行事です。高校生になって久しぶりにどんぐりクラブに顔を出したとき、みんなが（指導員や高学年だけではなく自分のことを知らない子たちも）温かく迎えてくれたため、緊張もすぐにほぐれ、昔を思い出しながら楽しく遊ぶことができました。遊びに行くたびに、どんぐりっ子の明るさや、卒業してからも見守ってくれる指導員の優しさを感じます。そんなどんぐりクラブで過ごした時間は、一生ものの宝だと思っています。どんぐりクラブには感謝の気持ちでいっぱいです。

山形市どんぐりクラブ卒所生 藤岡悠斗

